

まほろば秦野通信

令和6年6月28日

タイトル	～県央5市町村と近隣の企業・大学が連携～ 「広域行政連絡会」を「県央やまなみ協議会」に
When (いつ)	7月1日（月曜日）午後4時から
Where (どこで)	秦野市役所本庁舎4階 議会第一会議室
Who (だれが)	厚木市：山口貴裕市長、秦野市：高橋昌和市長 伊勢原市：高山松太郎市長、愛川町：小野澤豊町長 清川村：岩澤吉美村長 【オブザーバー】 小田急電鉄（株）、神奈川中央交通（株） 中日本高速道路（株）、（株）横浜銀行、（株）神奈川新聞社 松蔭大学、神奈川県
What (なにを)	令和5年7月18日に構成5市町村で締結した「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」に基づく取組の推進に向け、広域行政連絡会総会を開催します。 総会において、広域行政連絡会の組織体制を見直し、地域の広域的な企業や大学をオブザーバーとして迎えるとともに名称を「県央やまなみ協議会」に改める予定です
Why (なぜ)	・丹沢・大山を軸に地理的につながる行政、企業、大学がそれぞれの強みを生かしながら、県央やまなみ地域全体の活性化を図っていきます。 ・「県央やまなみ」という名称を入れることで、地域をより明確にし、認知度向上につなげます。 ・行政間の「連絡会」という位置付けから、企業などからの意見を踏まえた協議を通じて広域連携を強化します。 ※企業等と連携した主な取組は別紙のとおり ・鳥獣被害対策専門部会を設置し、広域的なメリットを活用した対策をするほか、捕獲鳥獣などの有効活用を検討します。
過去の実績	令和5年7月18日に、構成5市町村により「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」を締結
問い合わせ	総合政策課 総合政策担当：関根 電話：0463（82）5101

企業等との連携した取組の推進

構成市町村間の連携による取組のほか、企業等と連携し、市民サービスの向上や県央やまなみ地域全体の活性化を進めます。

企業等	主な取組
小田急電鉄株式会社	・小田急沿線デジタルアライアンスの取組の推進
神奈川中央交通株式会社	・エコ通勤デーの推進 ・マイクロツーリズムの推進
中日本高速道路株式会社	・秦野SAを活用した県央やまなみ地域のPR ・新しいドライブプランの企画・販売
株式会社神奈川新聞社	・県央やまなみ地域の観光記事をカナロコに掲載等
株式会社横浜銀行	・脱炭素地域社会の推進 ※廃食油を航空燃料にする環境教育プログラムを、現在、モデル事業として厚木市立森の里小学校で実施中。
松蔭大学	・広域観光事業の推進 ・大学生の視点による魅力の再発見